



地下鉄七隈線延伸（天神南～博多間）について 工事施行認可を申請しました

現在福岡市は、地下鉄七隈線延伸について平成26年度着工を目標に、手続きを行っておりますが、順調に手続きが進んでいることから、早期着工に向け調査・設計を進めるとともに、予算の確保に向けた要望活動等を行っているところでございます。

この度、着工に必要な手続きである、鉄道事業法に基づく工事施行認可を申請しました。

引き続き、環境アセスメントや都市計画決定の手続きを進めるとともに、道路等の占用許可等の諸手続きを行い、早期着工、早期開業を目指してまいります。

1 申請日

平成24年12月 7日（金）

2 申請先

国土交通大臣（九州運輸局経由）

3 申請者

福岡市長

4 申請内容

別紙 をご参照ください。

（参考）事業概要

- ・ 延伸区間 天神南～博多間
- ・ 建設キロ 約1.4km（営業キロ 約1.6km）
- ・ 建設費 約450億円
- ・ 乗車人員 約6.8万人（うち、新規利用者数は約2.1万人）
- ・ 開業予定 平成32年度

工事施行認可申請について

○地下鉄七隈線の工事を行うために必要な手続きです

工事を必要とする鉄道施設については工事計画を定め、国土交通大臣より認可を受ける必要があります。

今回の工事施行認可申請は、七隈線延伸区間の鉄道施設のうち、先行して工事を行う、主に土木構造物に関する施設について申請を行うものです。

なお、平成 25 年 6 月までには、残りの主に電気施設に関する工事施行認可申請を行う予定としています。

○申請書の内容

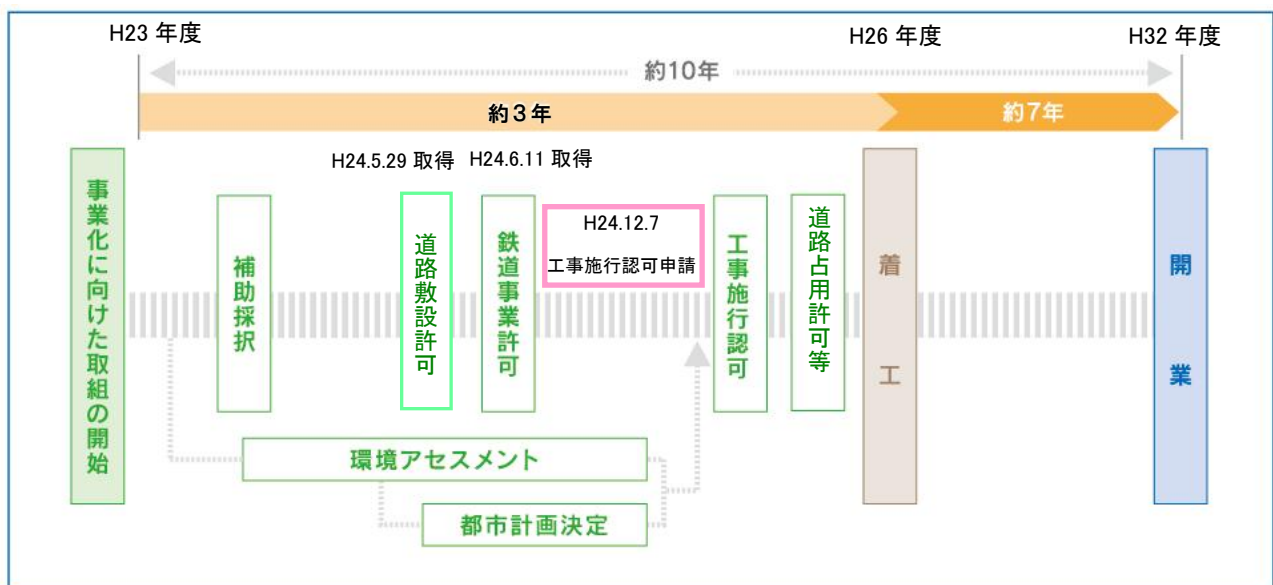
工事の起点・終点、トンネル等の構造形式や施設規模等を記載しています。

- ・工事の起点・終点 福岡市中央区春吉三丁目から博多区博多駅中央街まで
 - ・構造形式 駅 部：開削・アンダーピニング・ナトム（山岳トンネル）工法による箱形または馬蹄形トンネル
 駅間部：シールド・ナトム（山岳トンネル）工法による円形または馬蹄形トンネル
- ※工法については別図（参考：地下鉄工事の施工方法）のとおり

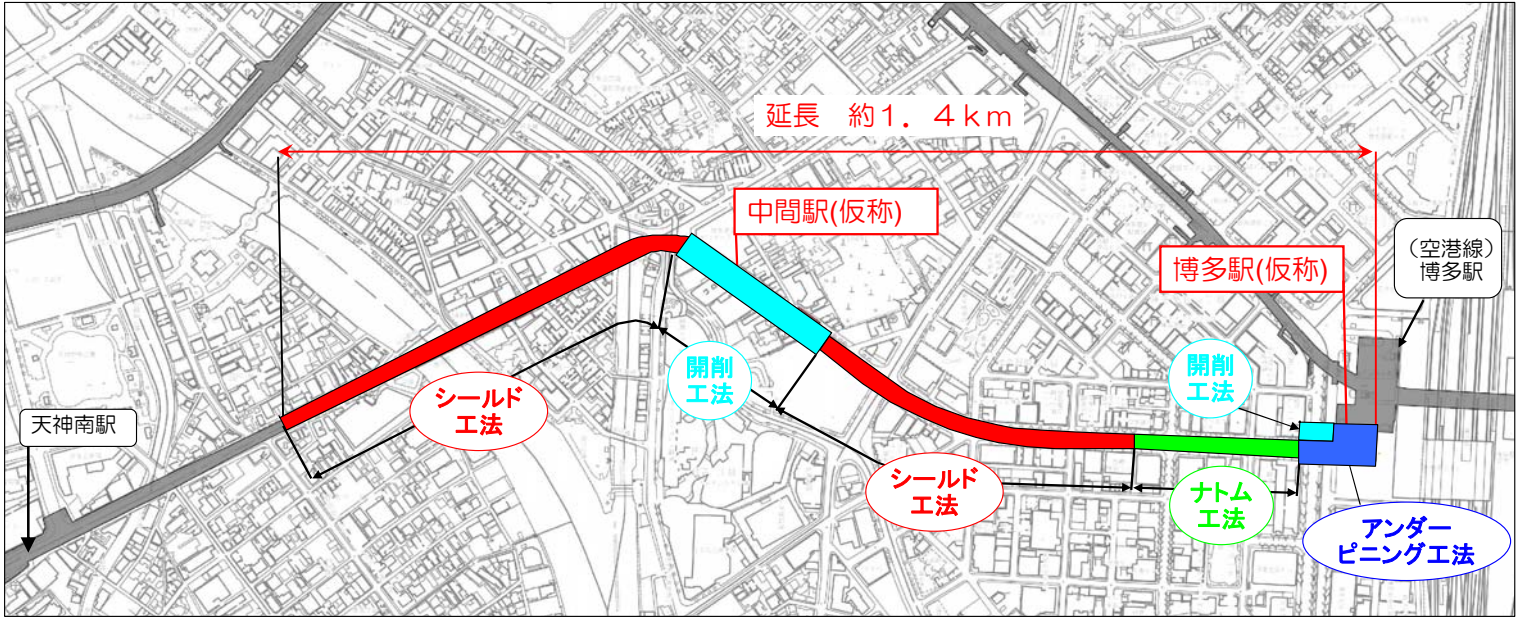
着工までの予定

着工までに必要な国土交通大臣への申請は、工事施行認可が最終的な手続きとなりますが、引き続き道路管理者、河川管理者、交通管理者からの各種許可等の諸手続きや、国の予算確保等を着実に進める必要があります。

今後とも関係機関のご協力を得ながら、早期着工を目指してまいります。



別図（参考：地下鉄工事の施工方法）



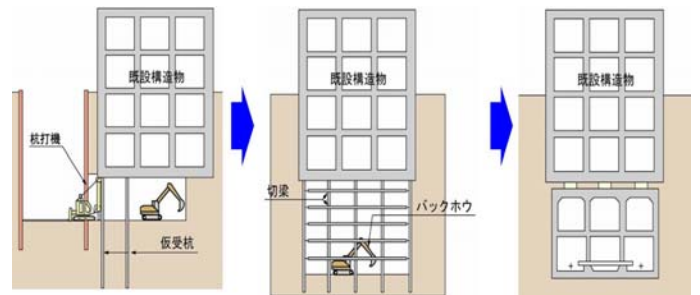
【開削工法】 構造形式: 箱形トンネル

地面を上から直接掘り下げて、構造物をつくり、埋戻して復旧する工法



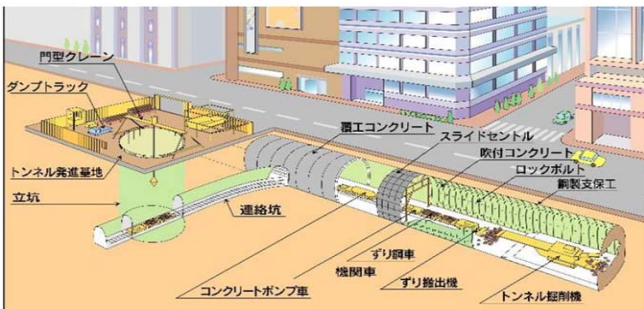
【アンダーピニング工法】 構造形式: 箱形トンネル

既設構造物を受けながら掘削し、その下に新たに構造物を造る工法



【ナトム工法】 構造形式: 馬蹄形トンネル

地盤を掘る機械を使って、横穴式に地中を掘り進み、支保で土圧を支えながら、コンクリートでトンネルを造る工法



【シールド工法】 構造形式: 円形トンネル

シールド機械で地盤を掘り進み、その後方でコンクリート製や鋼製のブロックを円形に組立てながら、トンネルを造る工法

